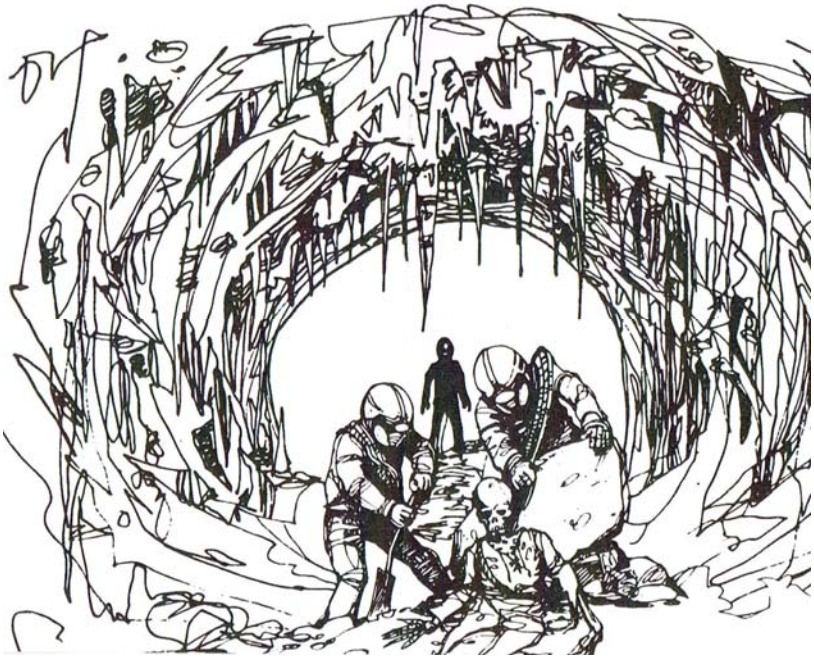
WALRUS AUDIO



DESCENT

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

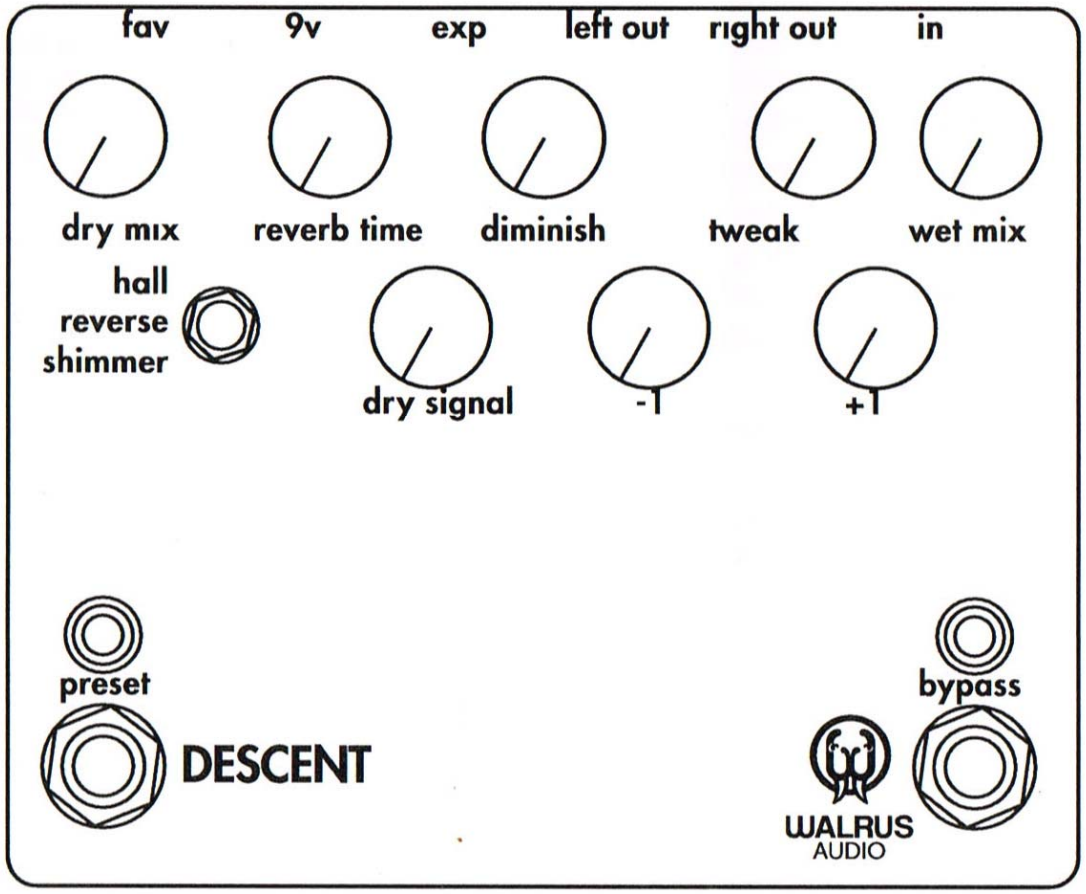
www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

「芸術的な個性と美しいリバーブサウンド」

Walrus Audio の Descent リバーブペダルは 8 つの個性的なコントロールと 3 つのモードによって美しく幻想的なサウンドをプレイできます。またプレーヤーはプリセットを保存する事も可能です。またエクスプレッションペダルによるコントロールでは、各コントロールのパラメーターの可変範囲を設定することも可能です。



FOOT SWITCHES

Walrus Audio の Descent リバーブペダルには 2 つのフットスイッチがあります。

Preset Footswitch →保存されたプリセットを切り替えます

Bypass Footswitch/ Preset Save → ペダルのオン/オフを切り替えます。長押しすることでプリセットを保存する働きもあります。

INPUT AND OUTPUTS

Power → 外部 AC アダプターで動作します。140mA 以上のものをご使用ください

In → 標準の 1/4″入力端子です

Left Out (Mono) → 通常のモノラル出力にはこの LEFT OUT をご利用ください

Right Out (for Stereo)→ ステレオ使用時にはこの Output を右側のチャンネルに利用できます

Exp→ エクスプレッションペダルを接続できます

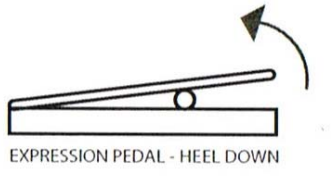
Fav(Remote) → 外部に別売の 2ch フットスイッチ（2-CHANNEL REMOTE CONTROL SWITCH）を使用する事で Descent のリモートスイッチコントロールが可能です。ペダルボード内にスペースの無い場合などに小さなスイッチだけをフロントに配置して使用することができます。2ch フットスイッチは TRS ケーブルで接続できます。

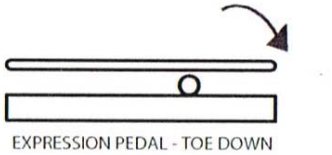
SETTING PRESET

サウンドを調整した状態で Bypass フットスイッチを長押し（Bypass ボタンが点滅するまで）するとプリセット保存ができます。3 つのプリセットは Preset フットスイッチを踏むたびに 赤→青→緑の LED でトグル切替されます。プリセットモードから抜けて、フロントパネルのコントロールに戻るには Preset フットスイッチを長押しします。フロントパネルコントロールで設定を追加変更したら再度 Bypass フットスイッチを長押しするとその LED 色のモードに上書きされます。

EXPRESSION PEDAL

以下の図の通り「HEEL DOWN（上図）」と「TOE DOWN（下図）」の状態に各コントロールノブの上限値と下限値を記憶させ、複数のノブを同時にエクスプレッションペダルで可変して演奏することが可能です。





Descent をエクスプレッションペダルでコントロールするには、まずフットコントローラを EXP 端子に接続し、エクスプレッションペダルを「TOE DOWN」の状態にします。この状態で DESCENT の各ノブのパラメーターを希望の最大値に設定してください。次にエク

スプレッションペダルを「HEEL DOWN」の状態にしてから各ノブのパラメーターを希望の最小値に設定します。これでエクスプレッションペダルを動かすと設定した値の間でコントロールが可能になります。

MODE

Descent には Hall、Reverse、Shimmer の 3 つのモードがあり、フロントパネルのトグルスイッチで切り替えが可能です。また各モードによってノブに割り当てられる機能が異なりますので以下を参照にしてください。

1, HALL MODE

Dry Mix → ドライ信号の量をミックスします。ゼロに設定するとエフェクト音だけが出力されます。最大にセットすることで楽器の信号をフルで出力します。

Reverb Time → リバーブの長さを調整します。

Diminish → リバーブの拡がり感を微調整します。最大で拡がりが大きくなり、最小位置ではフラットなリバーブ感になります。

Tweak → リバーブのダンピング（高域の減衰度合い）を調整します。

Dry Signal → Descent では入力された信号はまず「オクターブコントロール」にルーティングされます。この Dry Signal コントロールはリバーブに送る原音の量を調整します。

+1 Octave → 1 オクターブ上のノートを加えます。

-1 Octave → 1 オクターブ下のノートを加えます。

Wet Mix → ドライ信号とエフェクト音をミックスします。12:00 ポジションで Dry50% /Wet50%になります。

2, REVERSE MODE

Dry Mix → ドライ信号の量をミックスします。ゼロに設定するとエフェクト音だけが出力されます。最大にセットすることで楽器の信号をフルで出力します。

Reverb Time → Reverse モード時はリバースサウンドの Pre-Delay を設定します。

Diminish → Reverse モード時はリバースサウンドのリバーブタイムを設定します。

Tweak → Reverse モード時はシグナルのトーンキャラクターを調整します。最大でブライトなトーンに、最小でダークなトーンに変化します。

Dry Signal → Descent では入力された信号はまず「オクターブコントロール」にルーティングされます。この Dry Signal コントロールはリバーブに送る原音の量を調整します。

+1 Octave → 1 オクターブ上のノートを加えます。

-1 Octave → 1 オクターブ下のノートを加えます。

Wet Mix → ドライ信号とエフェクト音をミックスします。12:00 ポジションで Dry50% /Wet50%になります。

3, SHIMMER MODE

Dry Mix → ドライ信号の量をミックスします。ゼロに設定するとエフェクト音だけが出力されます。最大にセットすることで楽器の信号をフルで出力します。

Reverb Time →リバーブの長さを調整します。

Diminish → リバーブのフィードバックを調整します。

Tweak → リバーブの拡がり感を微調整します。最大で拡がりが大きくなり、最小位置ではフラットなリバーブ感になります。

Dry Signal → Descent では入力された信号はまず「オクターブコントロール」にルーティングされます。この Dry Signal コントロールはリバーブに送る原音の量を調整します。

+1 Octave → 1 オクターブ上のノートを加えます。

-1 Octave → 1 オクターブ下のノートを加えます。

Wet Mix → ドライ信号とエフェクト音をミックスします。12:00 ポジションで Dry50% /Wet50%になります。